



# 中原区区民アンケート 概要版

令和4（2022）年12月

## 川崎市中原区

### ○ 調査の目的

この調査は、区政に対する区民の意識、要望を、地域特性を踏まえて多面的に調査を行うことで明らかにし、調査結果を区政運営や地域課題の解決に係る基礎資料として活用することを目的として実施した。

### ○ 調査の方法

- (1) 調査地域 …………… 川崎市中原区全域
- (2) 調査対象 …………… 区内に在住する満 18 歳以上の男女（外国籍の区民を含む）
- (3) 標本数 …………… 2,000 サンプル
- (4) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく単純無作為抽出
- (5) 調査方法 …………… 郵送法
- (6) 調査期間 …………… 令和4年7月27日(水)～令和4年8月26日(金)  
(最終回収日：令和4年9月20日(火))
- (7) 調査委託機関 …… 山上技術士事務所

### ○ 調査の項目

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| (1) 区民の定住性          | (8) 地域の支え合い         |
| (2) 生活環境評価          | (9) 地域活動            |
| (3) 区役所業務の評価・区のイメージ | (10) 防災対策           |
| (4) 中原区役所の広報        | (11) 新型コロナウイルス感染症対策 |
| (5) 中原区役所の環境        | (12) 区制50周年         |
| (6) 子育て支援           | (13) 自由意見           |
| (7) 地域包括ケアシステム      |                     |

### ○ 回収状況

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| (1) 調査票配布数 | 2,000             |
| (2) 有効回収数  | 868 (有効回収率 43.4%) |

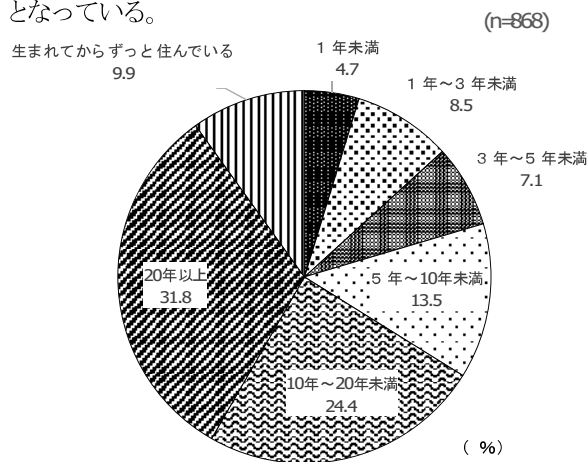
### ○ この報告書の見方

図表中の「n」は、各質問の回答者数を示す。回答の比率(%)は、n を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つだけ回答を選ぶ質問であっても、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。また、選択肢の中から複数の回答を選ぶ質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。

# 1. 区民の定住性

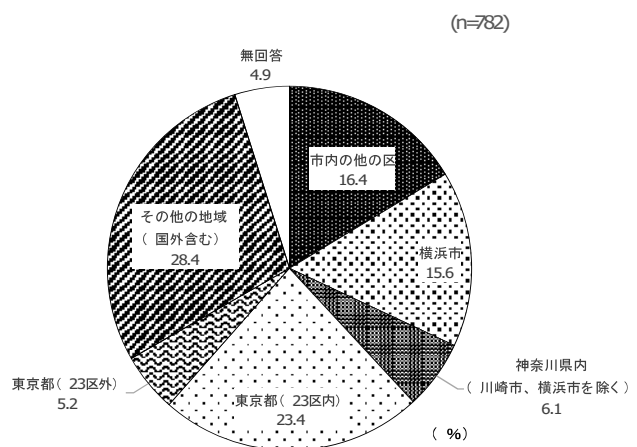
## (1) 居住年数

「20年以上」(31.8%)と「生まれてからずっと住んでいる」(9.9%)の2つを合わせた『長期居住者』(41.7%)は4割を超えている。「5年～10年未満」(13.5%)と「10年～20年未満」(24.4%)の2つを合わせた『中期居住者』(37.9%)は4割弱で、「1年未満」(4.7%)、「1年～3年未満」(8.5%)、「3年～5年未満」(7.1%)の3つを合わせた『短期居住者』(20.4%)は2割程度となっている。



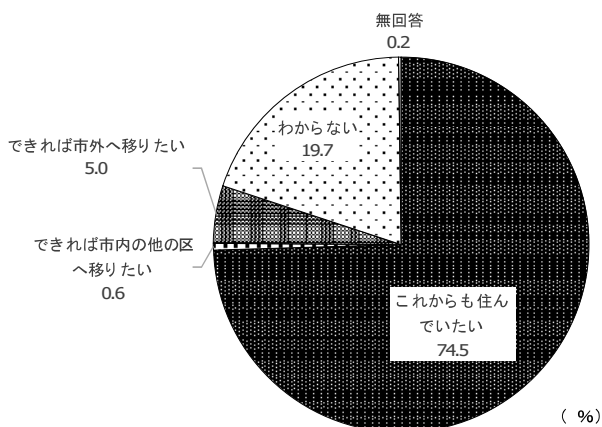
## (2) 以前の居住場所

中原区に「生まれてからずっと住んでいる」以外と回答した方(782人)に、以前の居住場所を聞いたところ、「その他の地域(国外含む)」(28.4%)が3割弱で最も多く、次いで「東京都(23区内)」(23.4%)、「市内の他の区」(16.4%)、「横浜市」(15.6%)となっている。



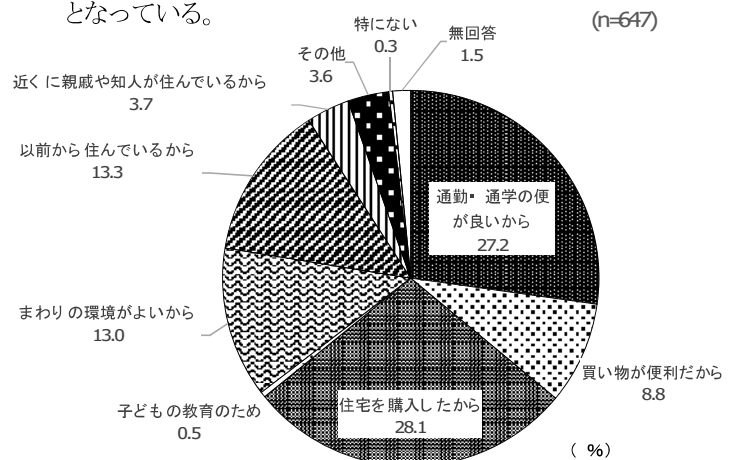
## (3) 定住意向

「これからも住んでいたい」(74.5%)と「できれば市内の他の区へ移りたい」(0.6%)を合わせた『市内に住みたい』(75.1%)が7割半ばを占めている。一方、「できれば市外へ移りたい」(5.0%)は1割未満となっている。



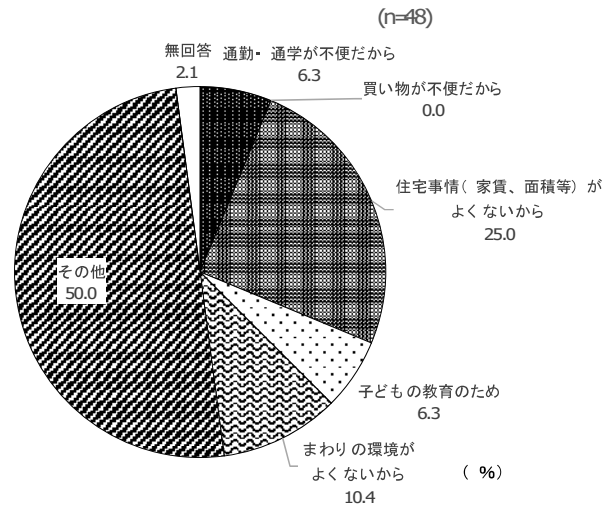
## (4) 定住したい理由

中原区に「これからも住んでいたい」と回答した方(647人)に、その理由を聞いたところ、「住宅を購入したから」(28.1%)が3割弱で最も多く、次いで「通勤・通学の便が良いから」(27.2%)、「以前から住んでいるから」(13.3%)、「まわりの環境がよいから」(13.0%)となっている。



### (5) 転出したい理由

中原区から「できれば市内の他の区へ移りたい」、「できれば市外へ移りたい」と回答した方(48人)に、その理由を聞いたところ、「住宅事情(家賃、面積等)がよくないから」(25.0%)が2割半ばで最も多く、次いで「まわりの環境がよくないから」(10.4%)、「通勤・通学が不便だから」(6.3%)、「子どもの教育のため」(6.3%)となっている。

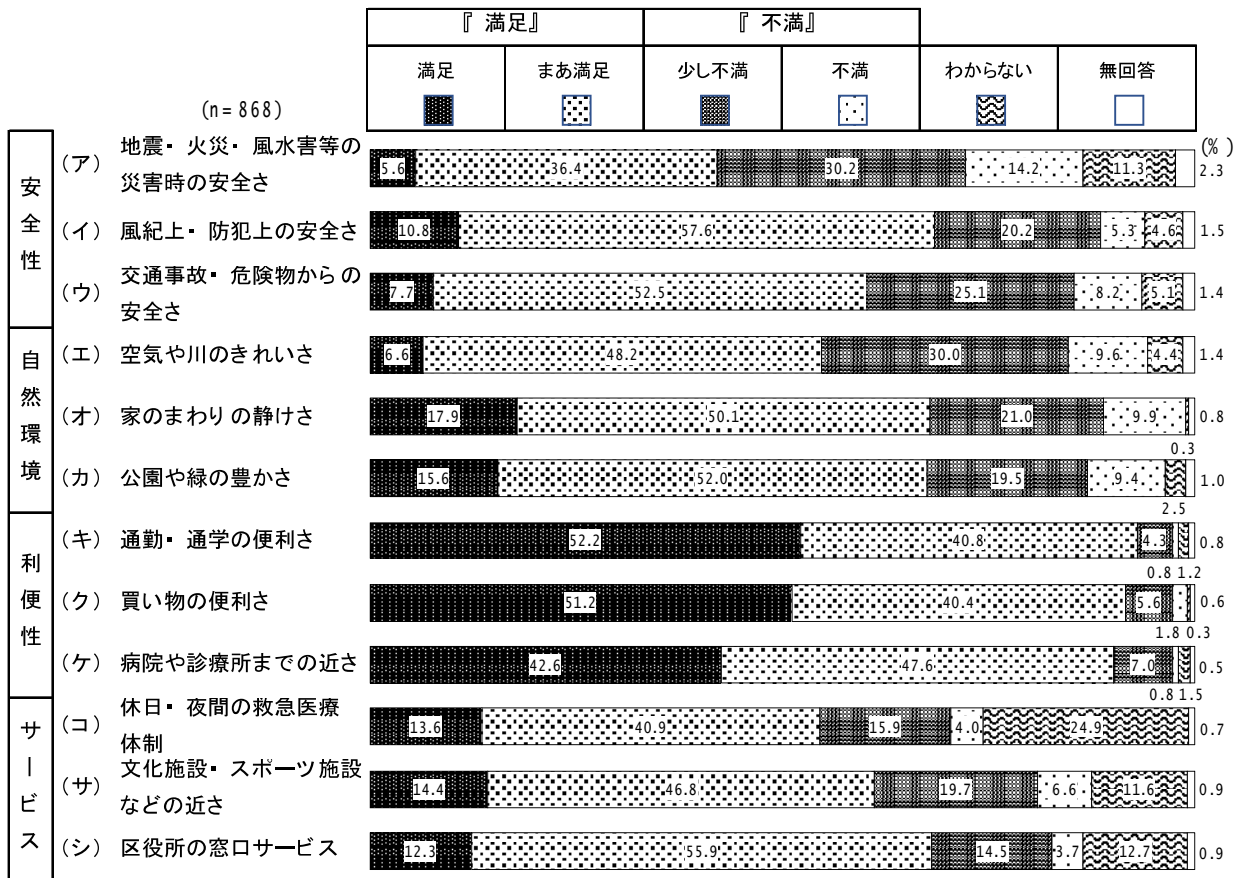


## 2. 生活環境評価

### (1) 生活環境の満足度

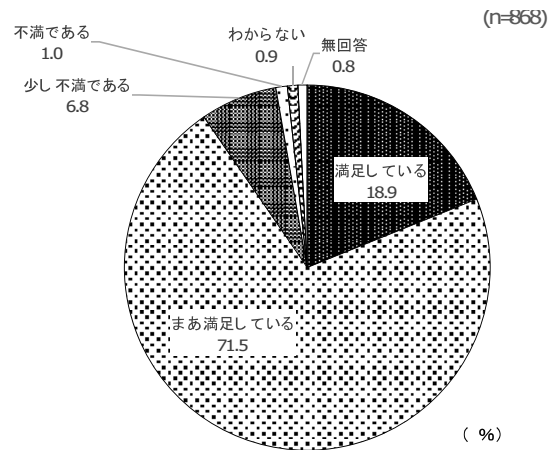
中原区の生活環境について、12項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』は、(キ)通勤・通学の便利さ(93.0%)が9割強で最も多く、次いで(ク)買い物の便利さ(91.6%)、(ケ)病院や診療所までの近さ(90.2%)となっている。

一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』は、(ア)地震・火災・風水害等の災害時の安全さ(44.4%)が4割半ばで最も多く、次いで(エ)空気や川のきれいさ(39.5%)、(ウ)交通事故・危険物からの安全さ(33.3%)、(オ)家のまわりの静けさ(30.9%)となっている。



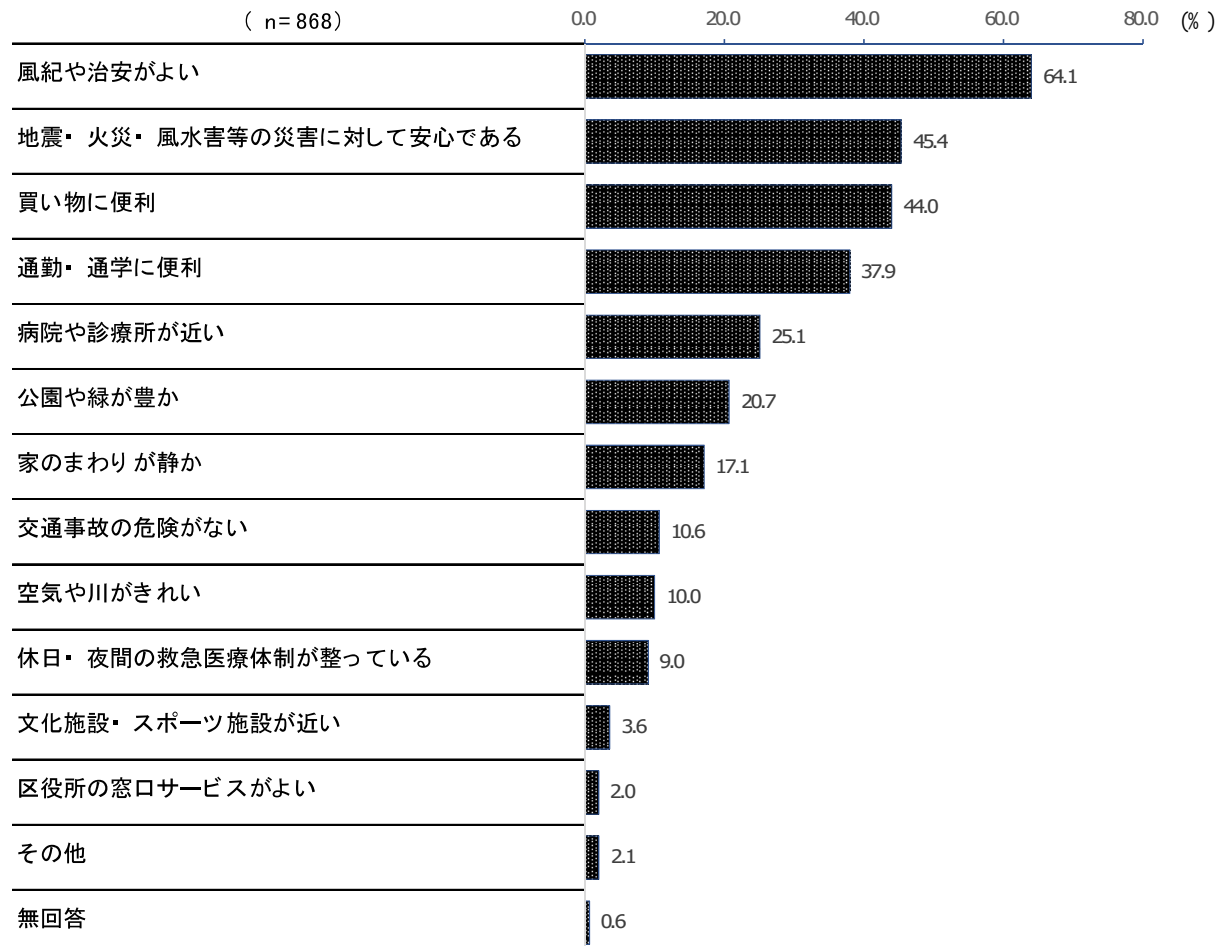
## (2) 生活環境全体の満足度

地域の生活環境を総合的にみた場合、中原区にどの程度満足しているか聞いたところ、「満足している」(18.9%)と「まあ満足している」(71.5%)の2つを合わせた『満足』(90.4%)が9割を超えている。一方、「少し不満である」(6.8%)と「不満である」(1.0%)の2つを合わせた『不満』(7.8%)は1割に満たない。



## (3) 住みよい環境についての意識

住みよい環境とは、どのようなものだと思うか聞いたところ、「風紀や治安がよい」(64.1%)が6割超で最も多く、次いで「地震・火災・風水害等の災害に対して安心である」(45.4%)、「買い物に便利」(44.0%)、「通勤・通学に便利」(37.9%)となっている。



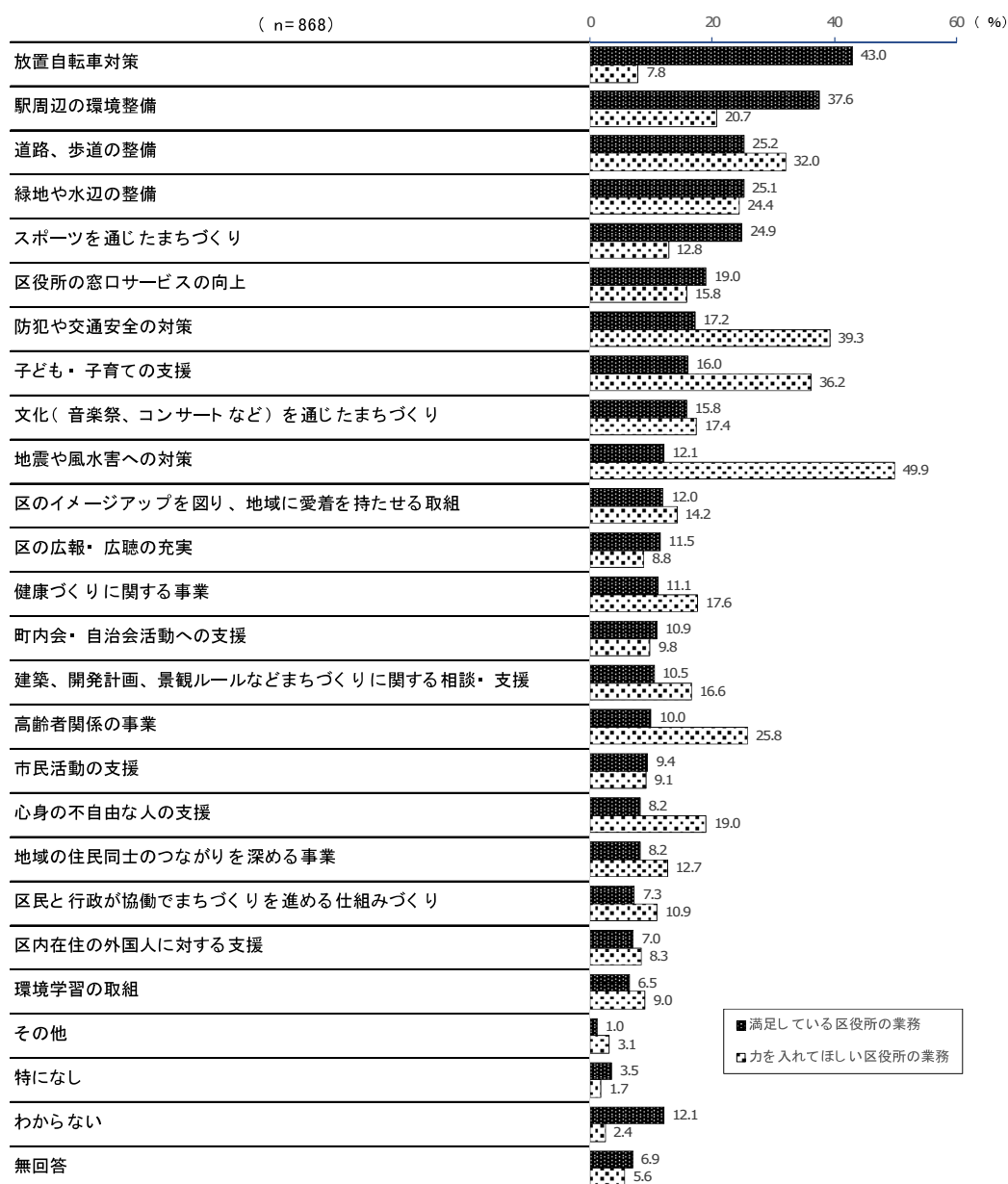
### 3. 区役所業務の評価・区のイメージ

#### (1) 満足している区役所の業務

#### (2) 力を入れてほしい区役所の業務

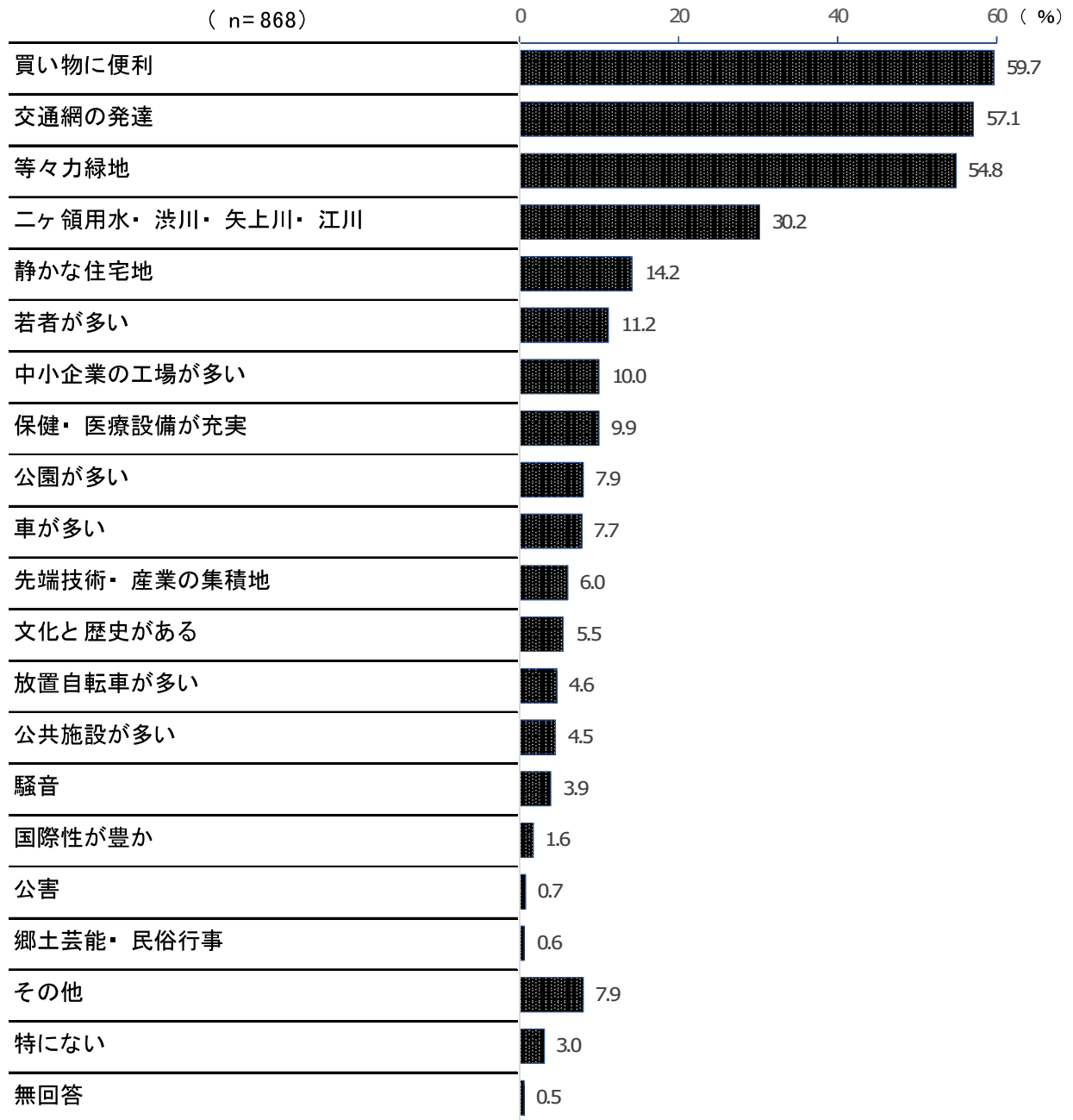
区役所の業務で、よくやっていると思うものを聞いたところ、「放置自転車対策」(43.0%)が4割強で最も多く、次いで「駅周辺の環境整備」(37.6%)、「道路、歩道の整備」(25.2%)、「緑地や水辺の整備」(25.1%)となっている。

区役所の業務で、今後、特に力を入れてほしいと思うものを聞いたところ、「地震や風水害への対策」(49.9%)が約5割で最も多く、次いで「防犯や交通安全の対策」(39.3%)、「子ども・子育ての支援」(36.2%)、「道路、歩道の整備」(32.0%)となっている。



### (3) 中原区のイメージ

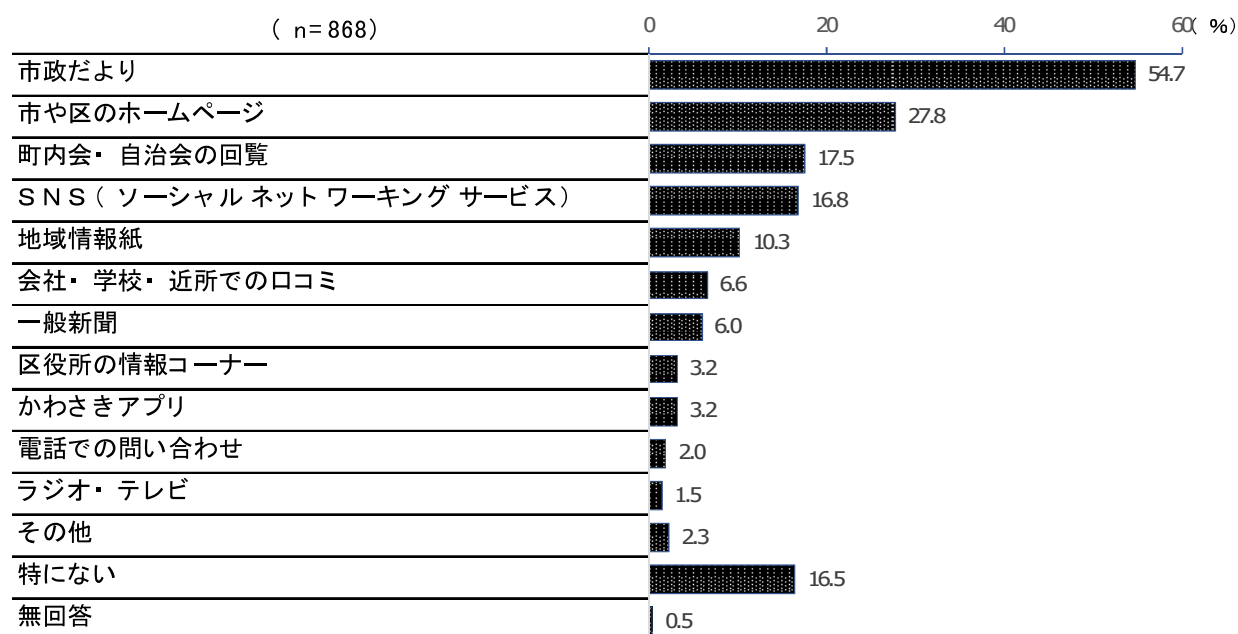
中原区の「イメージ」として何を思い浮かべるか聞いたところ、「買い物に便利」(59.7%)が6割弱で最も多く、次いで「交通網の発達」(57.1%)、「等々力緑地」(54.8%)となっている。



## 4. 中原区役所の広報

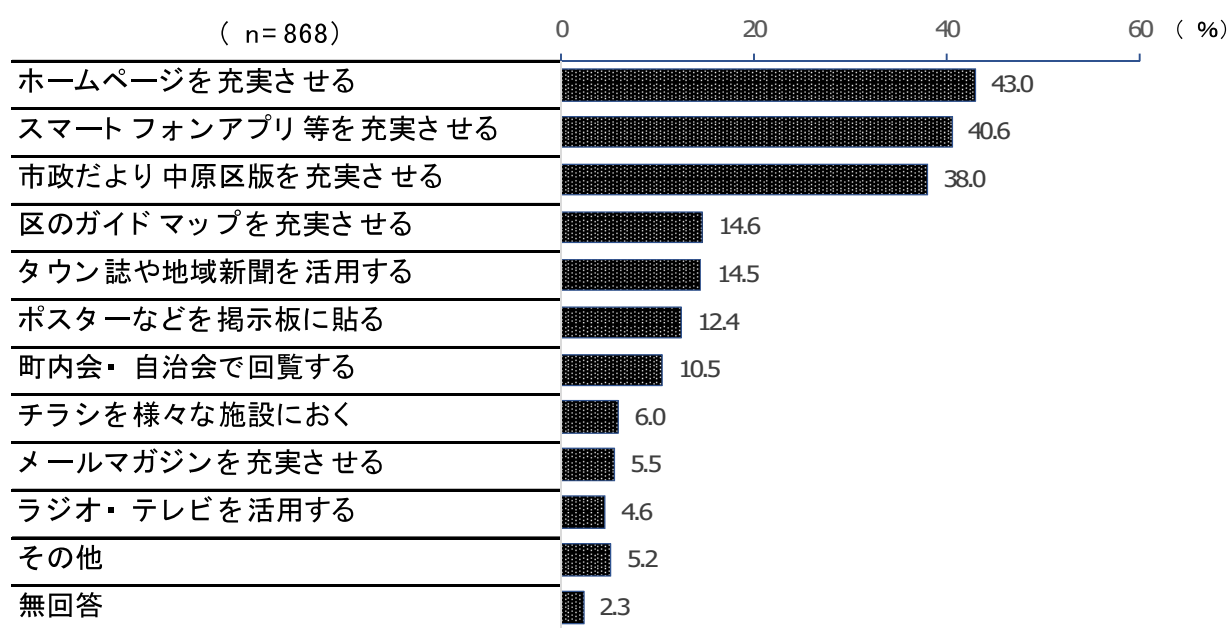
### (1) 行政・地域情報の入手方法

「市政だより」(54.7%)が5割半ばと最も多く、次いで「市や区のホームページ」(27.8%)、「町内会・自治会の回覧」(17.5%)となっている。



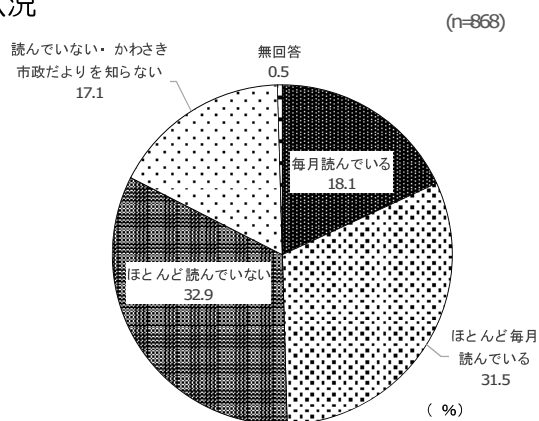
### (2) 充実してほしい行政・地域情報の提供方法

「ホームページを充実させる」(43.0%)が4割超で最も多く、次いで「スマートフォンアプリ等を充実させる」(40.6%)、「市政だより中原区版を充実させる」(38.0%)となっている。



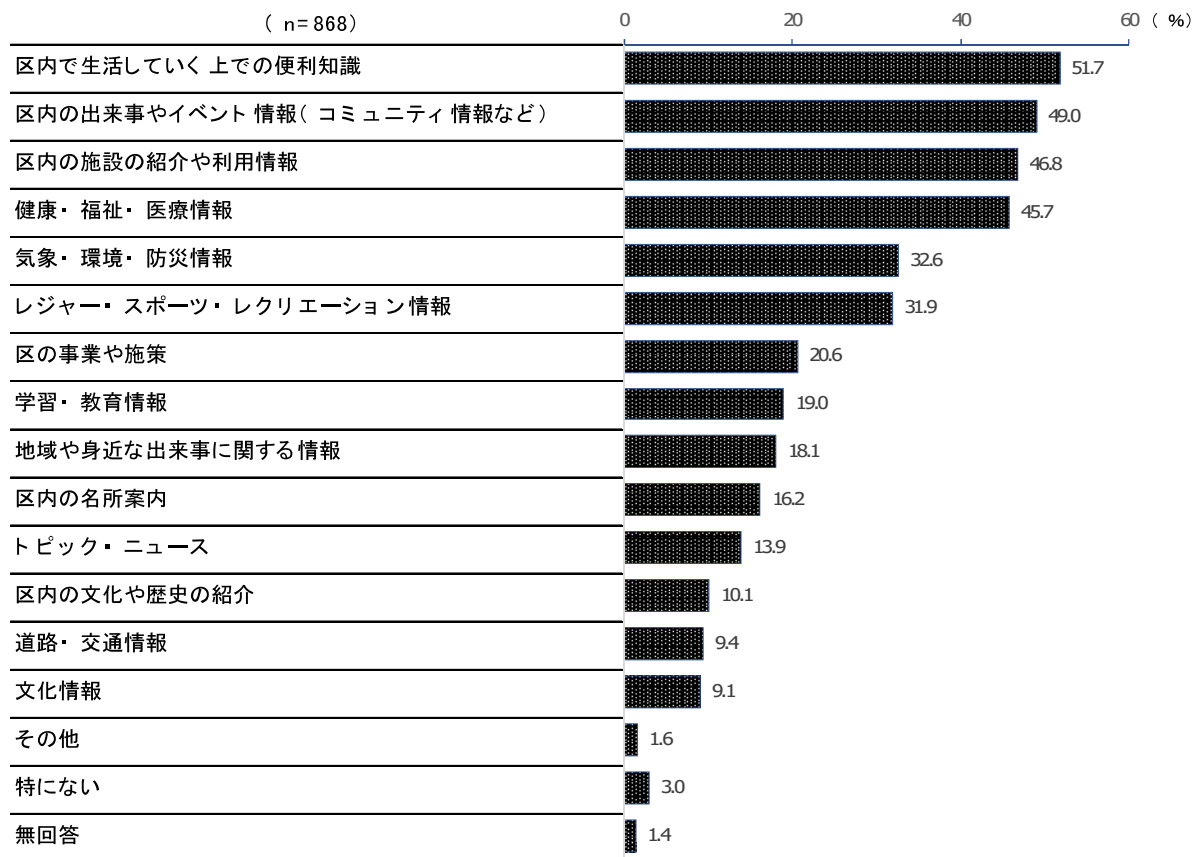
### (3) 「かわさき市政だより」 中原区版の閲覧状況

「毎月読んでいる」(18.1%)が2割弱、「ほとんど毎月読んでいる」(31.5%)は3割を超えている。一方、「ほとんど読んでいない」(32.9%)が3割を超え、「読んでいない・かわさき市政だよりを知らない」(17.1%)は2割弱となっている。



### (4) 充実してほしい行政・地域情報の種類

「区内で生活していく上での便利知識」(51.7%)、「区内の出来事やイベント情報(コミュニティ情報など)」(49.0%)、「区内の施設の紹介や利用情報」(46.8%)、「健康・福祉・医療情報」(45.7%)と続いている。

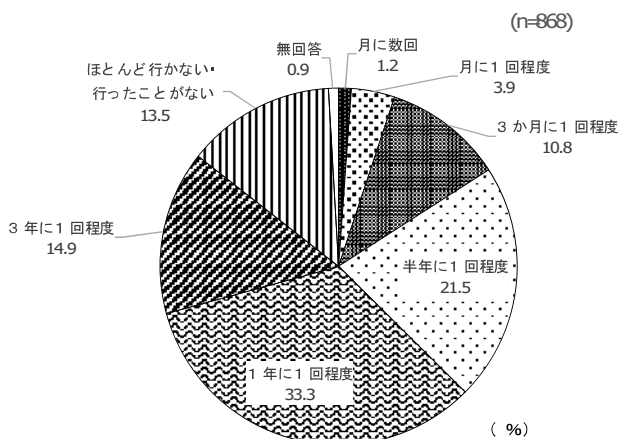




## 5. 中原区役所の環境

### (1) 中原区役所の利用頻度

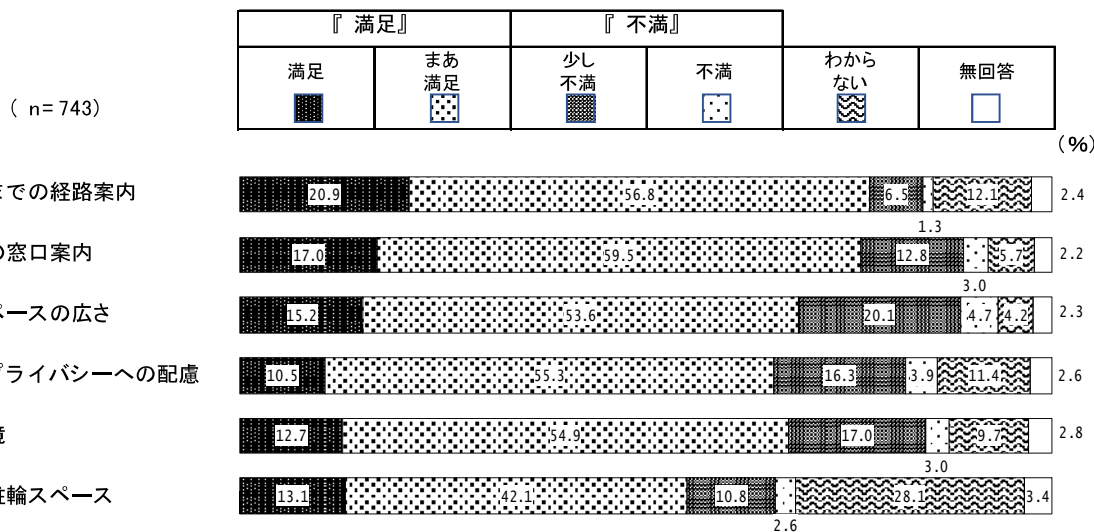
「1年に1回程度」(33.3%)が3割強で最も多く、次いで「半年に1回程度」(21.5%)、「3年に1回程度」(14.9%)、「3か月に1回程度」(10.8%)となっている。一方、「ほとんど行かない・行ったことがない」(13.5%)は1割強となっている。



### (2) 中原区役所の環境・設備の満足度

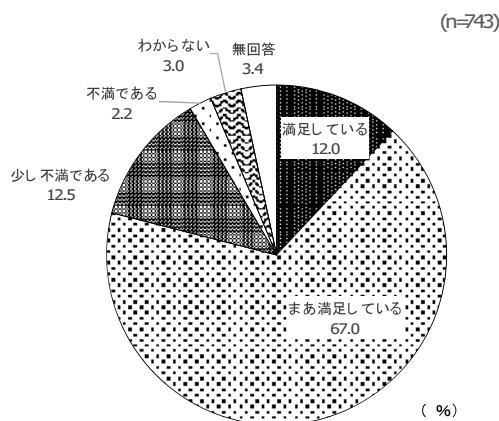
中原区役所の利用頻度で「ほとんど行かない・行ったことがない」以外を回答した方(743人)に、中原区役所の環境・設備について6項目に分けて満足度を聞いたところ、「満足」と「まあ満足」の2つを合わせた『満足』は、(ア) 区役所までの経路案内(77.7%)が8割近くと最も多く、次いで(イ) 庁舎内の窓口案内(76.5%)、(ウ) 待合スペースの広さ(68.8%)となっている。

一方、「少し不満」と「不満」の2つを合わせた『不満』は、(ウ) 待合スペースの広さ(24.8%)が2割半ばで最も多く、次いで(エ) 窓口のプライバシーへの配慮(20.2%)、(オ) 衛生環境(20.0%)となっている。



### (3) 中原区役所の環境全体の満足度

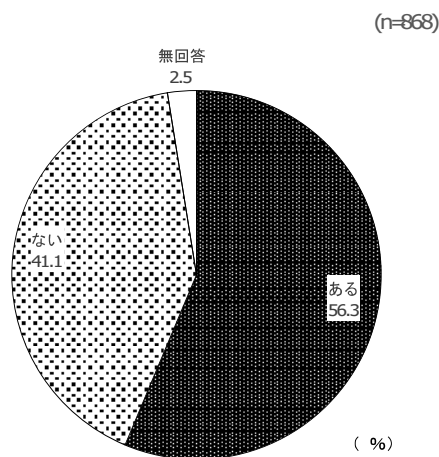
中原区役所の利用頻度で「ほとんど行かない・行ったことがない」以外を回答した方(743人)に、中原区役所の環境全体の満足度を聞いたところ、「満足している」が12.0%、「まあ満足している」が67.0%となり、これら2つを合わせた『満足』は79.0%となっている。



## 6. 子育て支援

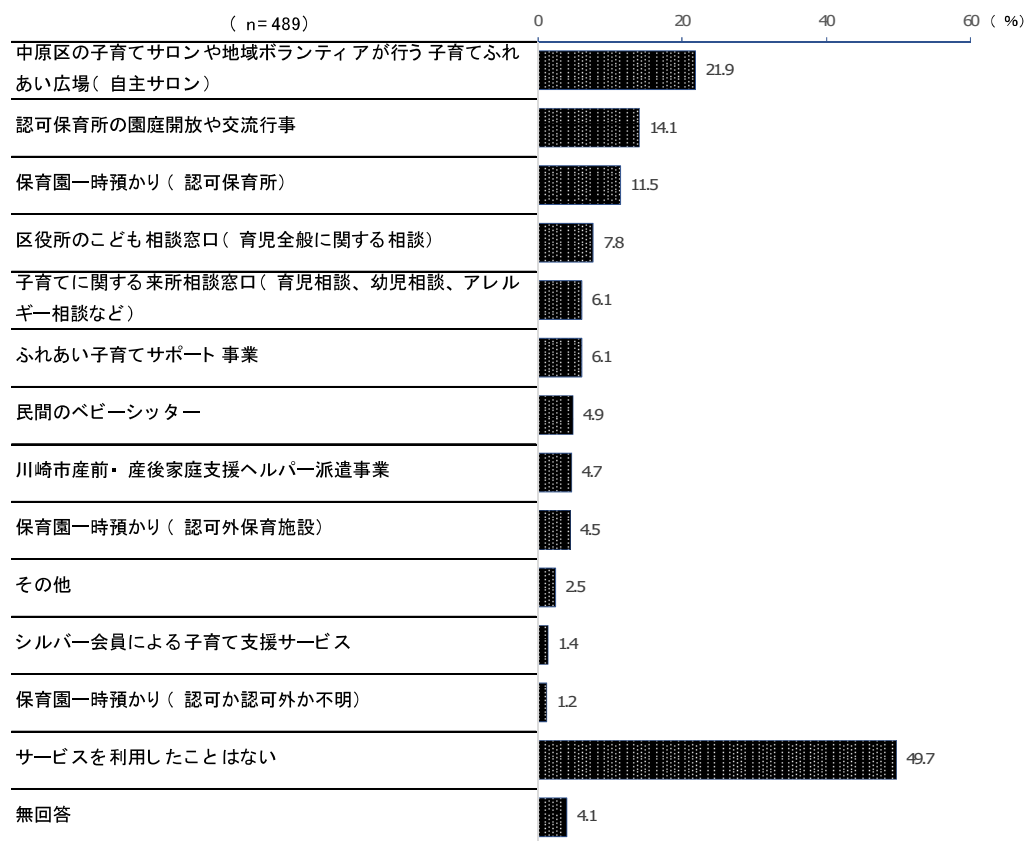
### (1) 子育ての経験の有無

「ある」(56.3%)が5割半ば、「ない」(41.1%)は4割超となっている。



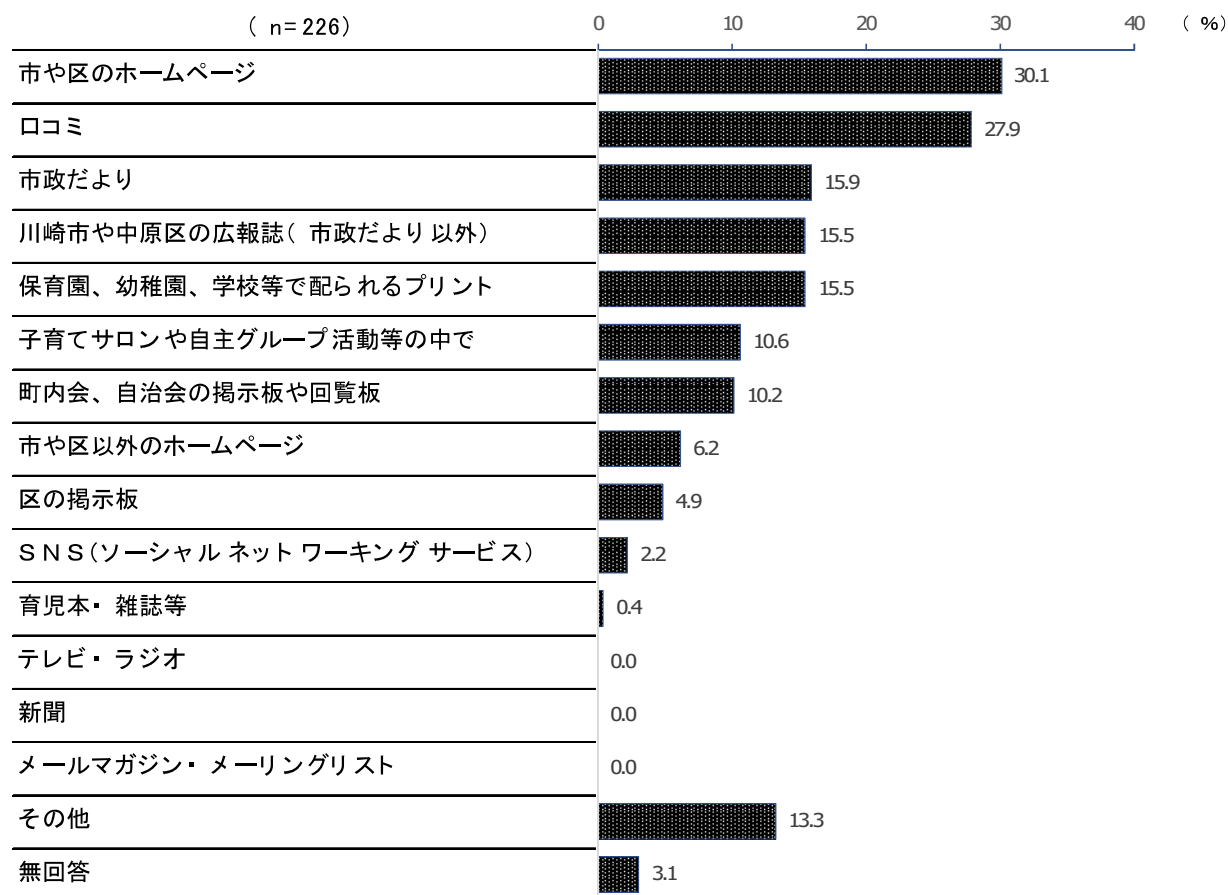
### (2) 利用したことがある子育て支援サービス

子育ての経験が「ある」と回答した方(489人)に、ふだん利用している、もしくは利用したことのあるサービスを聞いたところ、「中原区の子育てサロンや地域ボランティアが行う子育てふれあい広場(自主サロン)」(21.9%)が2割強で最も多く、次いで「認可保育所の園庭開放や交流行事」(14.1%)、「保育園一時預かり(認可保育所)」(11.5%)となっている。一方、「サービスを利用したことはない」(49.7%)は約5割となっている。



### (3) 子育て支援サービスを知ったきっかけ

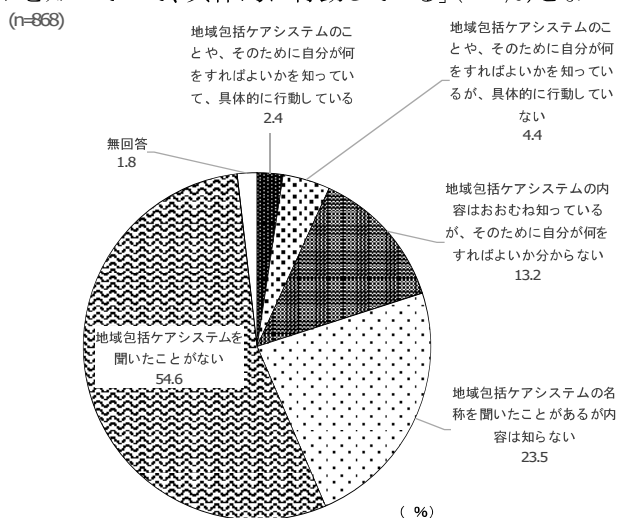
子育て支援の「サービスを利用したことはない」以外を回答した方(226人)に、サービスを何で知ったか聞いたところ、「市や区のホームページ」(30.1%)が3割強で最も多く、次いで「口コミ」(27.9%)、「市政だより」(15.9%)、「川崎市や中原区の広報誌(市政だより以外)」(15.5%)、「保育園、幼稚園、学校等で配られるプリント」(15.5%)となっている。



## 7. 地域包括ケアシステム

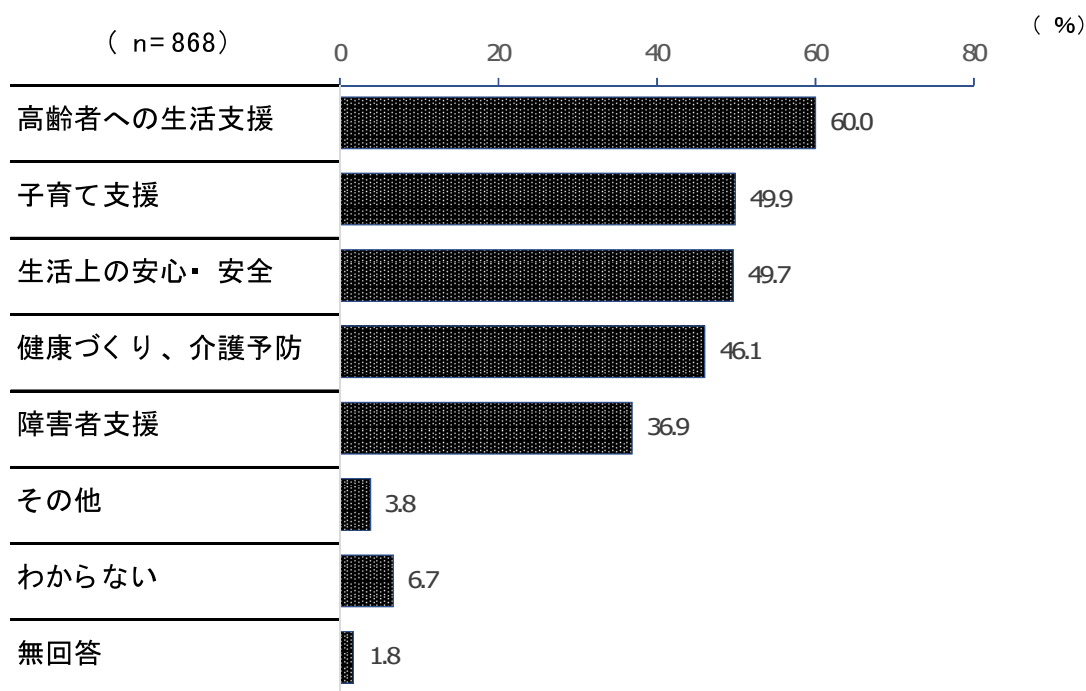
### (1) 「地域包括ケアシステム」の理解度・行動

「地域包括ケアシステムを聞いたことがない」(54.6%)が5割半ばで最も多く、次いで「地域包括ケアシステムの名称を聞いたことがあるが内容は知らない」(23.5%)、「地域包括ケアシステムの内容はおおむね知っているが、そのために自分が何をすればよいか分からない」(13.2%)、「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っているが、具体的に行動していない」(4.4%)、「地域包括ケアシステムのことや、そのために自分が何をすればよいかを知っていて、具体的に行動している」(2.4%)となっている。



### (2) 「地域包括ケアシステム」で取り組むべきこと

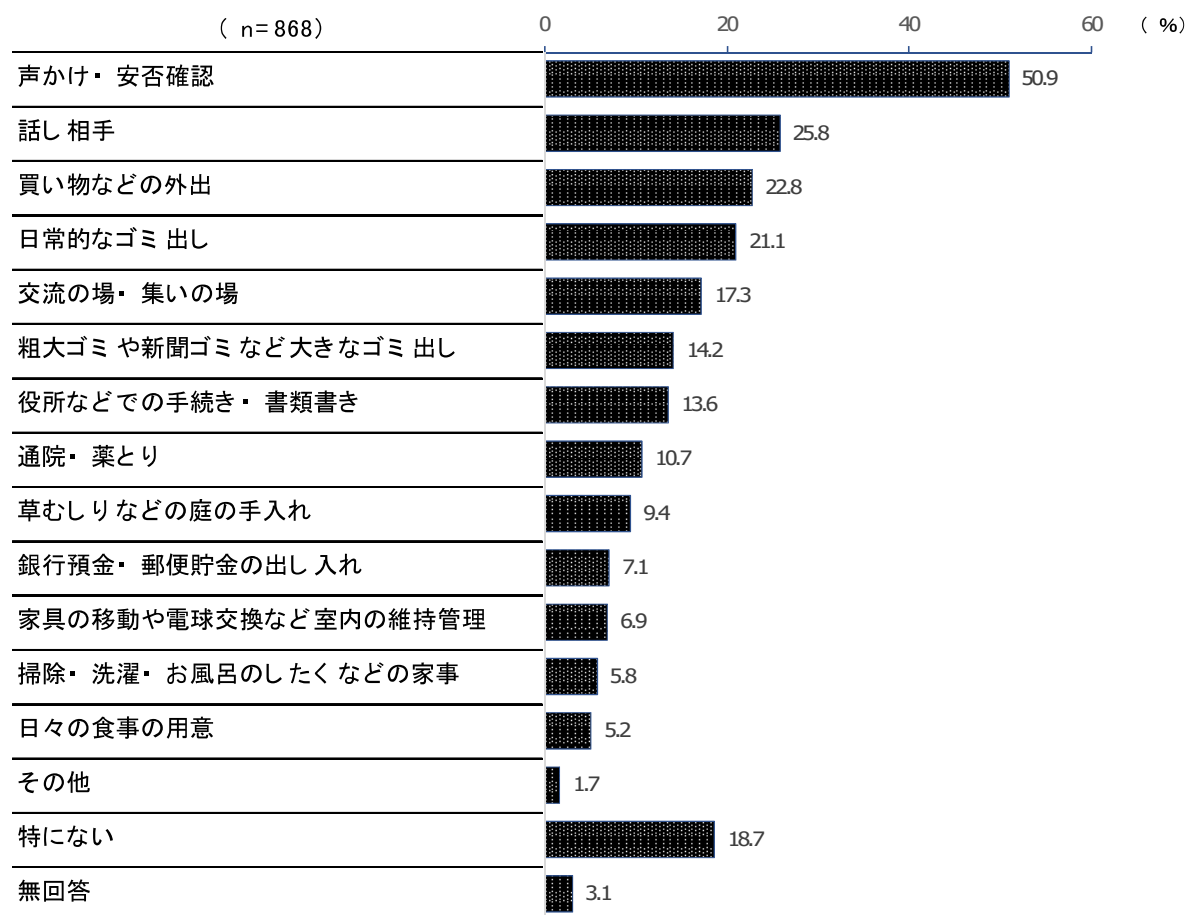
「高齢者への生活支援」(60.0%)が6割で最も多く、次いで「子育て支援」(49.9%)、「生活上の安心・安全」(49.7%)、「健康づくり、介護予防」(46.1%)となっている。



## 8. 地域の支え合い

### (1) 地域の支え合いに協力できること

「声かけ・安否確認」(50.9%)が5割強で最も多く、次いで「話し相手」(25.8%)、「買い物などの外出」(22.8%)、「日常的なゴミ出し」(21.1%)となっている。

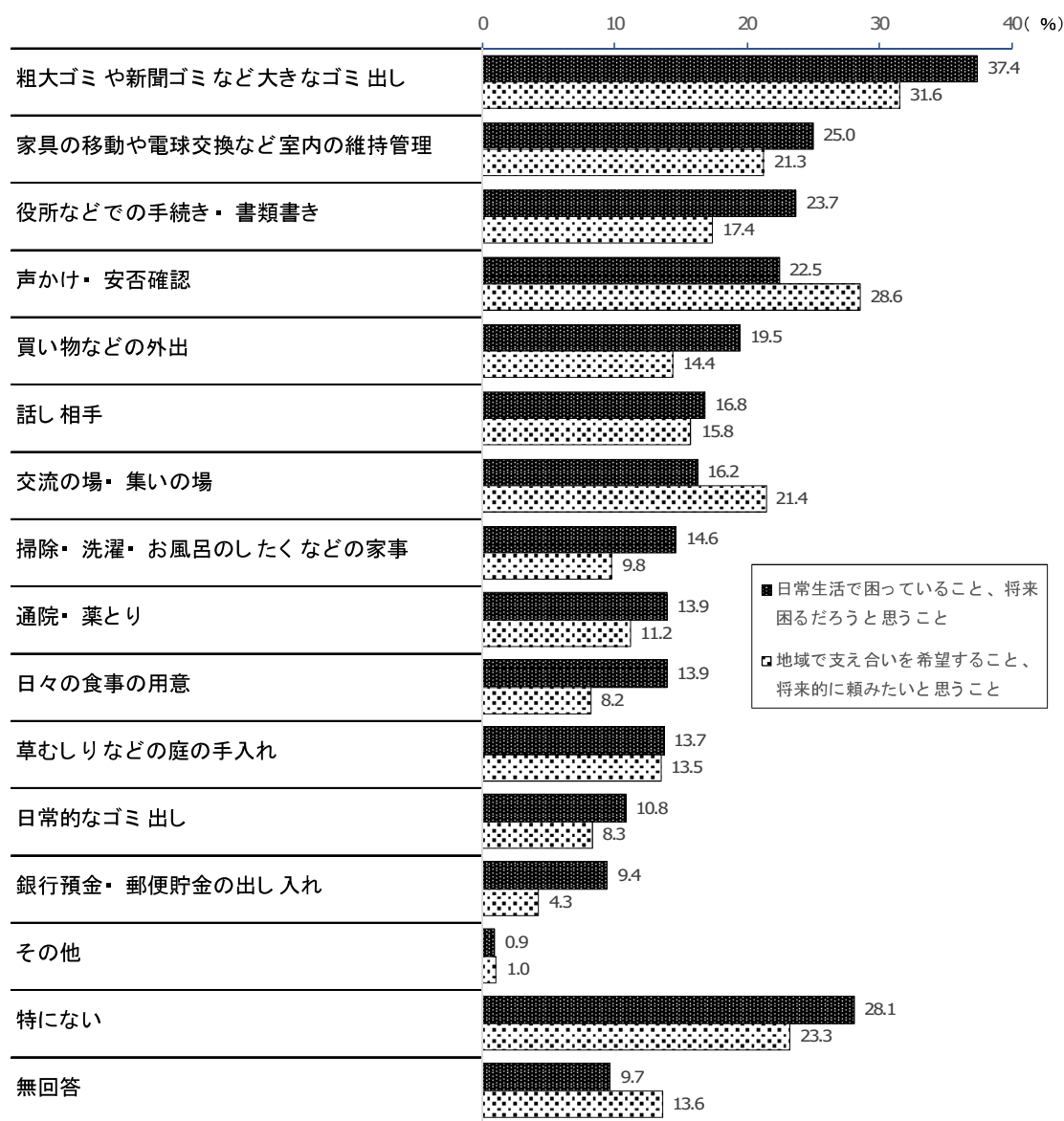


(2) 日常生活で困っていること、将来困るだろうと思うこと

(3) 地域で支え合いを希望すること、将来的に頼みたいと思うこと

日常生活で困っていること、または将来困るだろうと思うことを聞いたところ、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」(37.4%)が4割弱で最も多く、次いで「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」(25.0%)、「役所などでの手続き・書類書き」(23.7%)、「声かけ・安否確認」(22.5%)となっている。また、「特にない」(28.1%)は3割弱となっている。

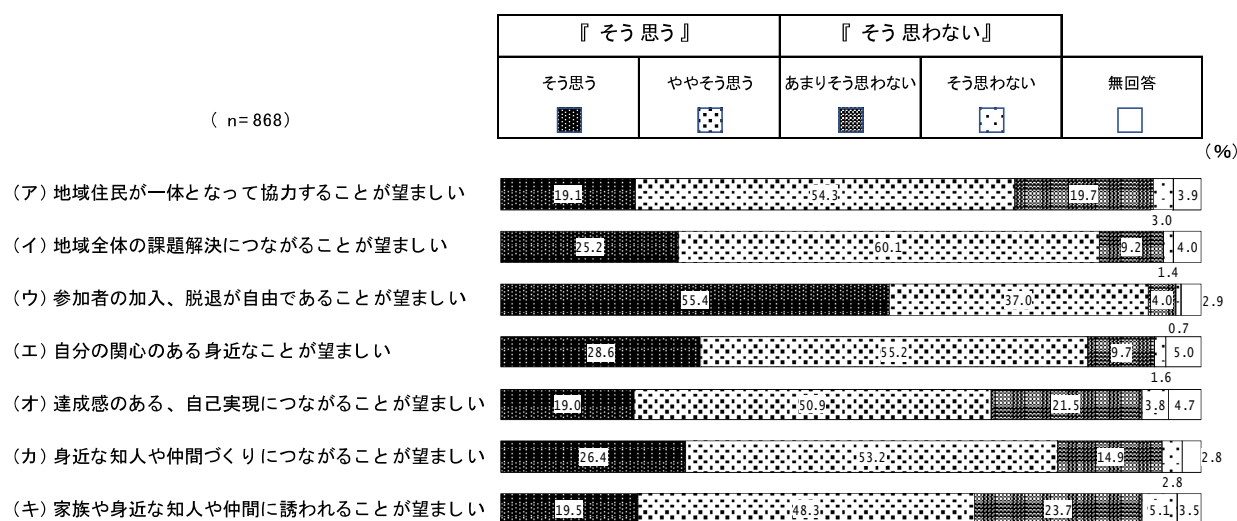
地域の支え合いを希望する、または将来的には頼みたいと思うことを聞いたところ、「粗大ゴミや新聞ゴミなど大きなゴミ出し」(31.6%)が3割強と最も多く、次いで「声かけ・安否確認」(28.6%)、「交流の場・集いの場」(21.4%)、「家具の移動や電球交換など室内の維持管理」(21.3%)となっている。また、「特にない」(23.3%)は2割を超えている。



#### (4) 「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」 についての考え

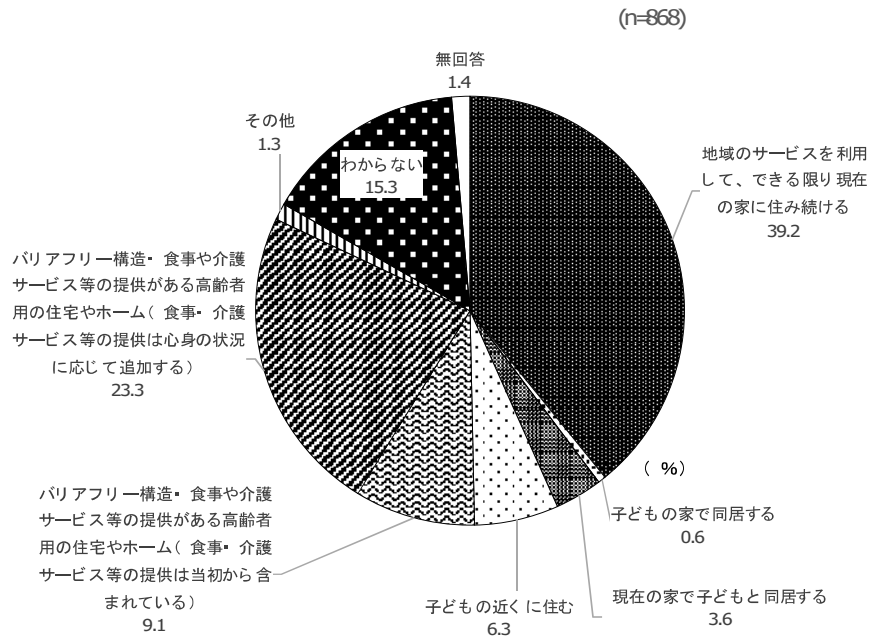
「誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで暮らせるよう、支えあう地域づくり」についての考えについて、7項目に分けて聞いたところ、「そう思う」と「ややそう思う」の2つを合わせた『そう思う』は、(ウ) 参加者の加入、脱退が自由であることが望ましい(92.4%)が9割を超えて最も多く、次いで(イ) 地域全体の課題解決につながることを望ましい(85.3%)、(エ) 自分の関心のある身近なことが望ましい(83.8%)となっている。

一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の2つを合わせた『そう思わない』は、(キ) 家族や身近な知人や仲間に誘われることが望ましい(28.8%)、(オ) 達成感のある、自己実現につながることを望ましい(25.3%)、(ア) 地域住民が一体となって協力することが望ましい(22.7%)で2割を超えている。



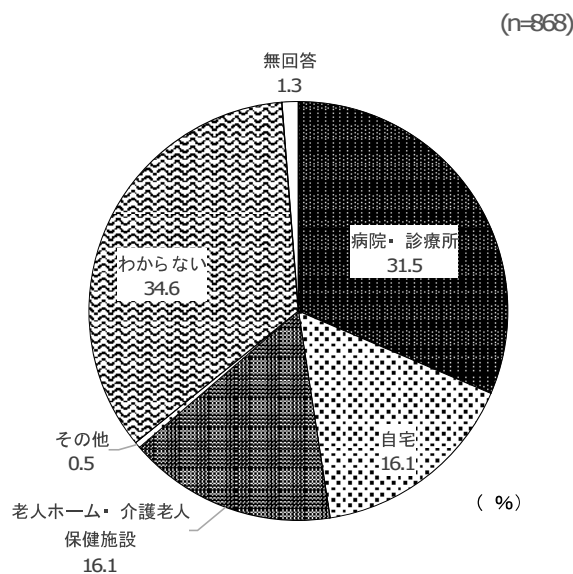
### (5) 最期までどのように住みたいか

「地域のサービスを利用して、できる限り現在の家に住み続ける」(39.2%)が4割弱で最も多く、次いで「バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム(食事・介護サービス等の提供は心身の状況に応じて追加する)」(23.3%)、「バリアフリー構造・食事や介護サービス等の提供がある高齢者用の住宅やホーム(食事・介護サービス等の提供は当初から含まれている)」(9.1%)となっている。



### (6) 実際に最期を迎えると思う場所

「病院・診療所」(31.5%)が3割強で最も多く、次いで「自宅」(16.1%)、「老人ホーム・介護老人保健施設」(16.1%)となっている。

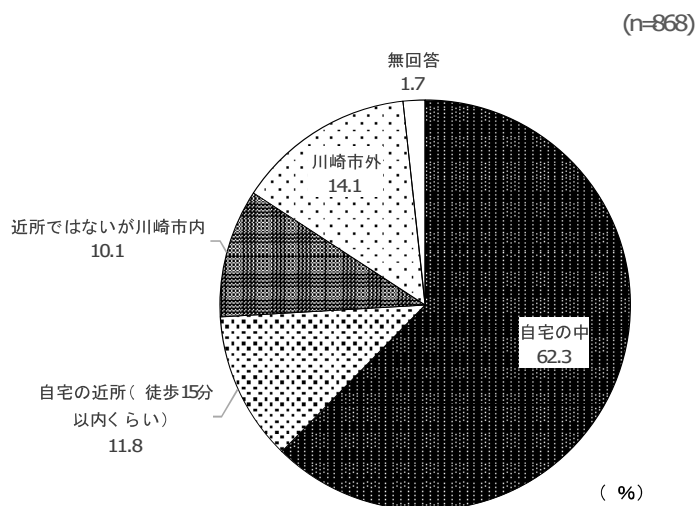




## 9. 地域活動

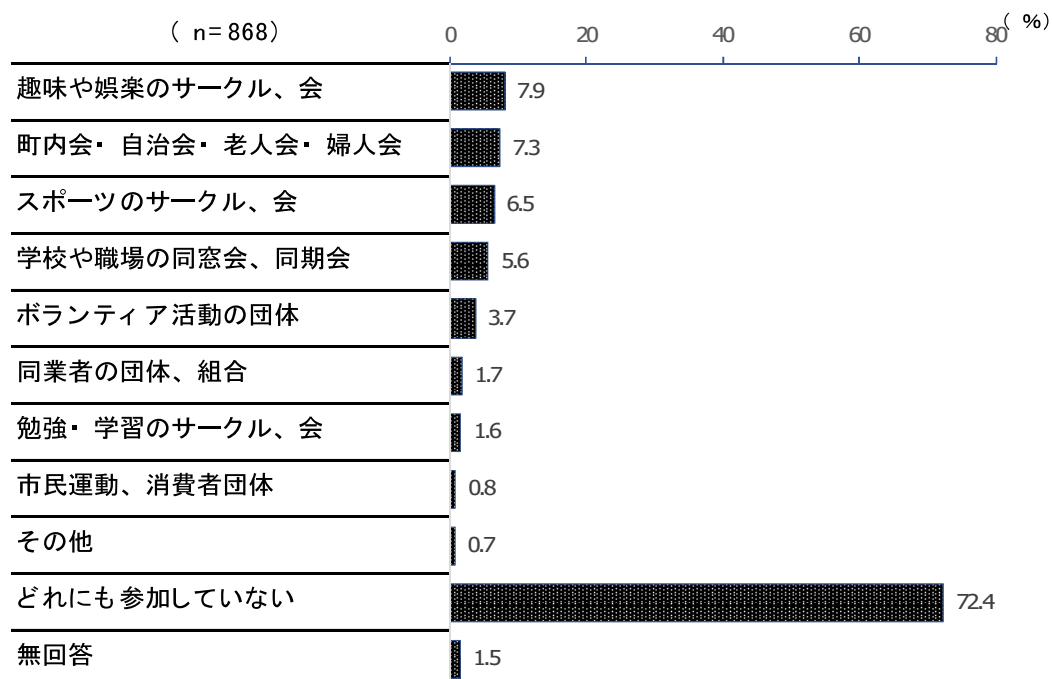
### (1) 自由な時間があるときに過ごす場所

「自宅の中」(62.3%)が6割強で最も多く、次いで「川崎市外」(14.1%)、「自宅の近所(徒歩15分以内くらい)」(11.8%)、「近所ではないが川崎市内」(10.1%)となっている。



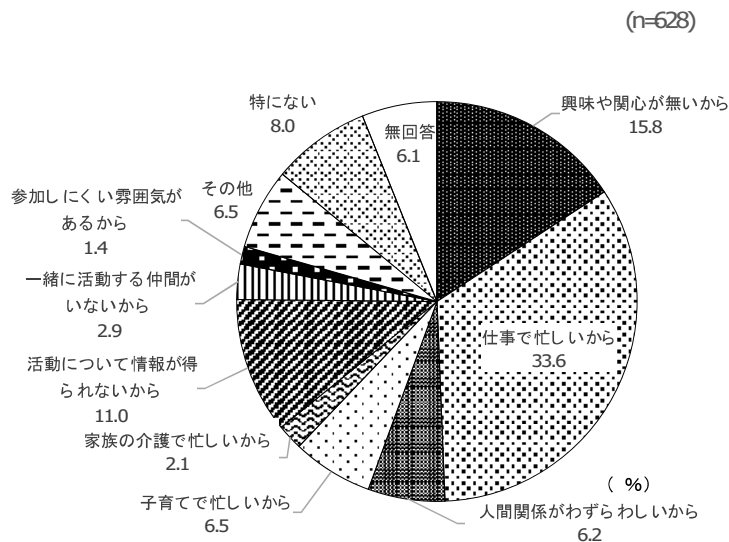
### (2) 地域活動への参加状況

「趣味や娯楽のサークル、会」(7.9%)と「町内会・自治会・老人会・婦人会」(7.3%)、「スポーツのサークル、会」(6.5%)が1割弱となっている。一方、「どれにも参加していない」(72.4%)は7割強となっている。



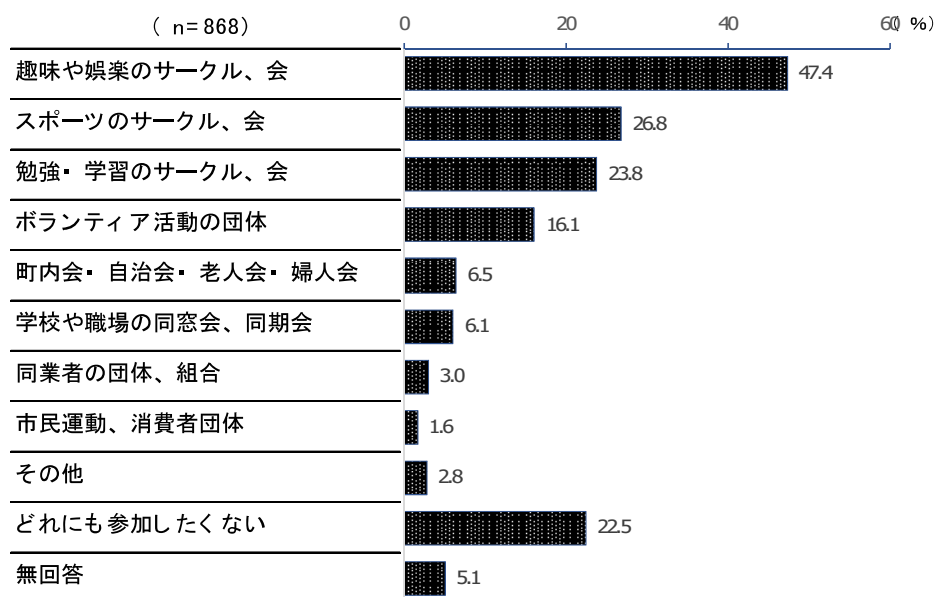
### (3) 地域活動に参加していない理由

地域活動に「どれにも参加していない」と回答した方(628人)に、その理由を聞いたところ、「仕事で忙しいから」(33.6%)が3割強で最も多く、次いで「興味や関心が無いから」(15.8%)、「活動について情報が得られないから」(11.0%)となっている。



### (4) 参加してみたい地域活動

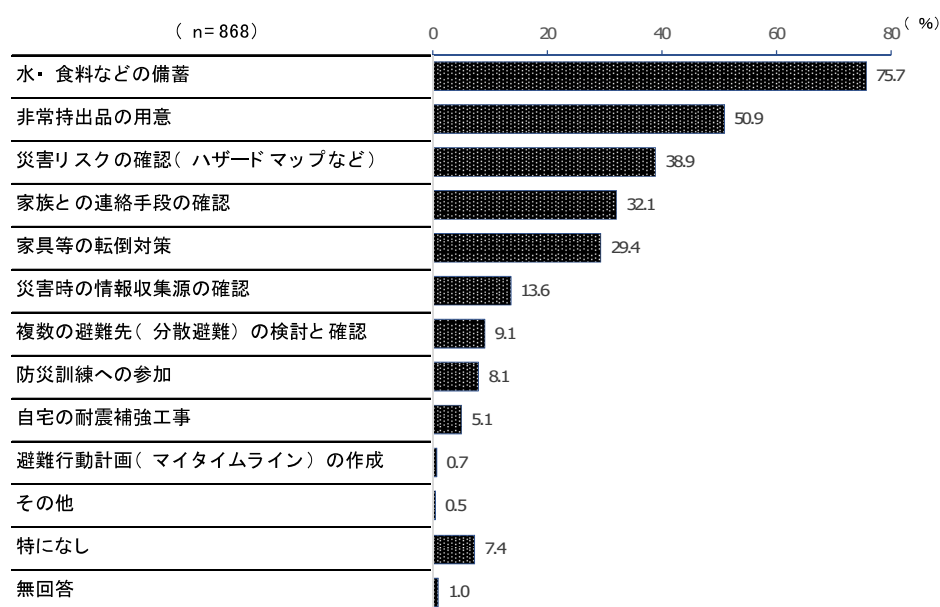
「趣味や娯楽のサークル、会」(47.4%)が5割弱で最も多く、次いで「スポーツのサークル、会」(26.8%)、「勉強・学習のサークル、会」(23.8%)となっている。



## 10. 防災対策

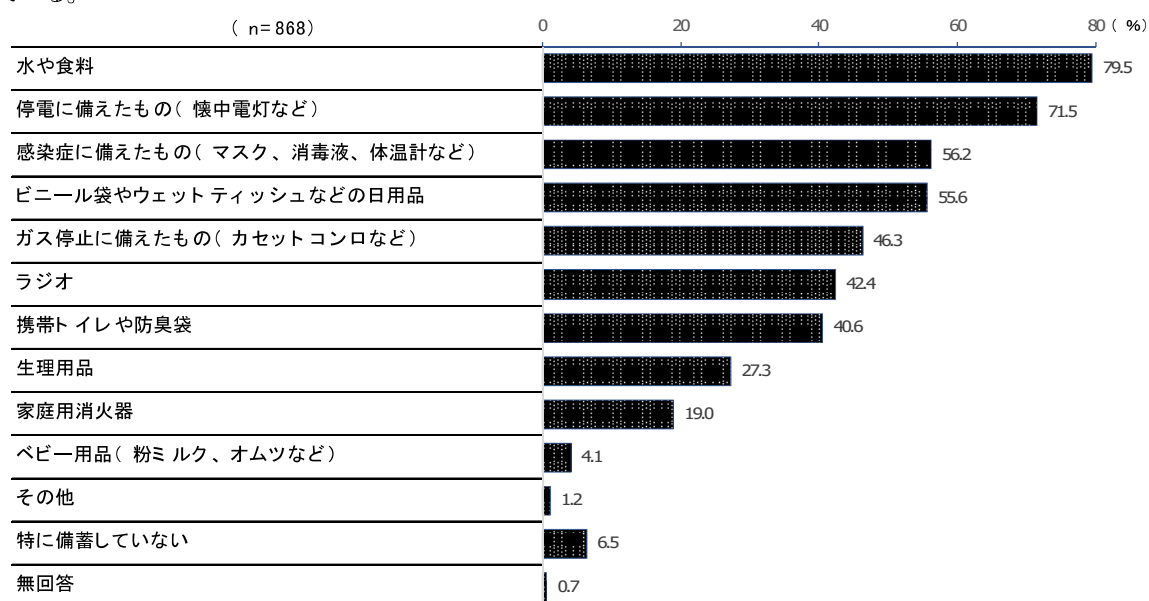
### (1) 災害に備えるための取組

災害に備えてどのような取組をしているかを聞いたところ、「水・食料などの備蓄」(75.7%)が7割半ばで最も多く、次いで「非常持出品の用意」(50.9%)、「災害リスクの確認(ハザードマップなど)」(38.9%)、「家族との連絡手段の確認」(32.1%)となっている。



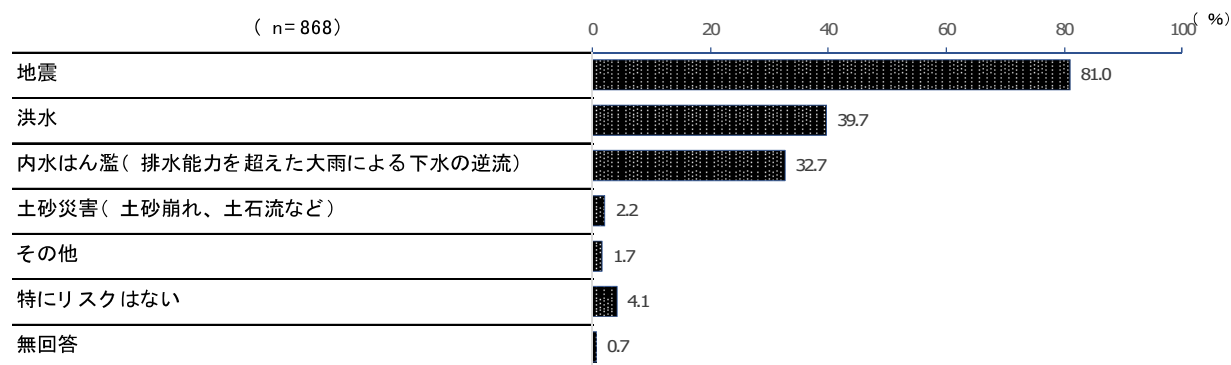
### (2) 備蓄状況

「水や食料」(79.5%)が8割弱で最も多く、次いで「停電に備えたもの(懐中電灯など)」(71.5%)、「感染症に備えたもの(マスク、消毒液、体温計など)」(56.2%)、「ビニール袋やウェットティッシュなどの日用品」(55.6%)となっている。



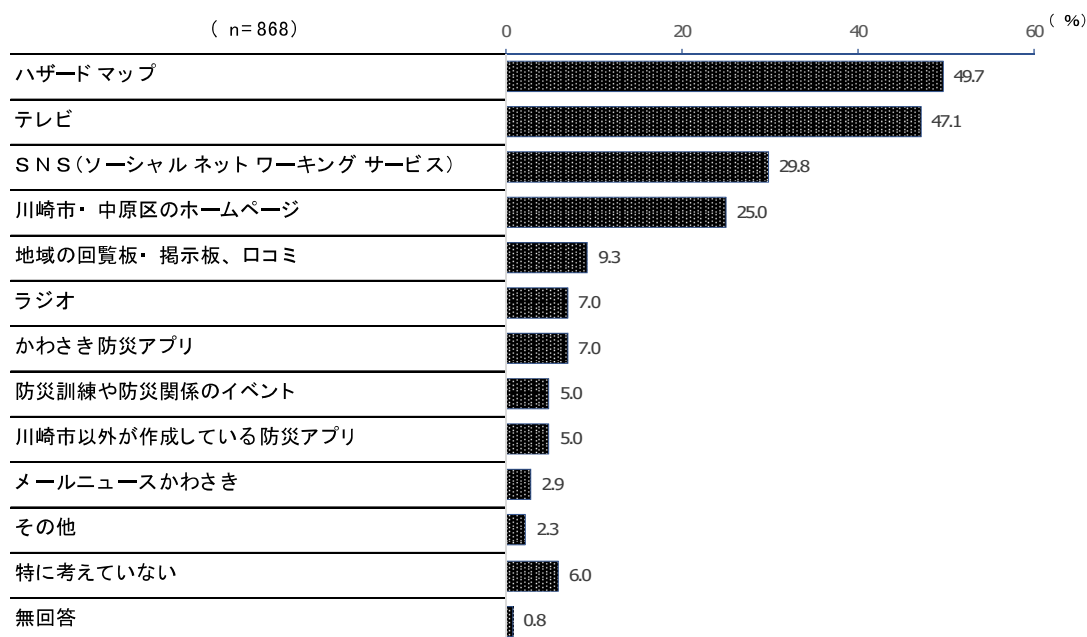
### (3) 自然災害のリスクについての考え

「地震」(81.0%)が8割強で最も多く、次いで「洪水」(39.7%)、「内水はん濫(排水能力を超えた大雨による下水の逆流)」(32.7%)となっている。



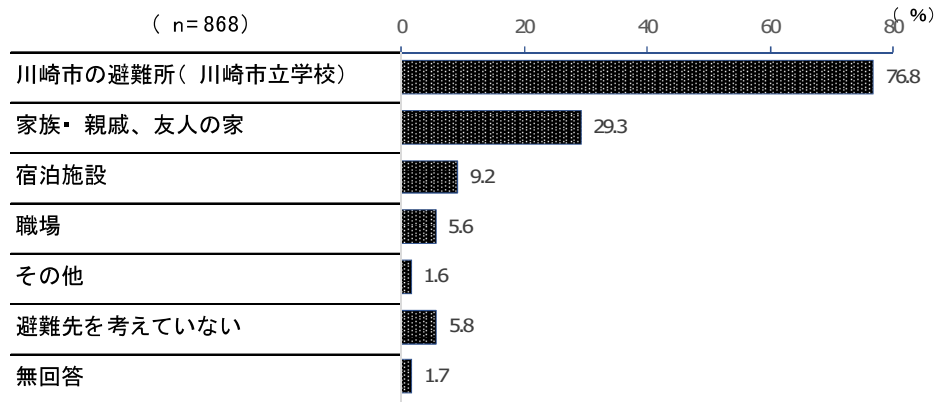
### (4) 防災に関する情報の入手手段

「ハザードマップ」(49.7%)が5割弱で最も多く、次いで「テレビ」(47.1%)、「SNS(ソーシャル ネットワーキング サービス)」(29.8%)、「川崎市・中原区のホームページ」(25.0%)となっている。



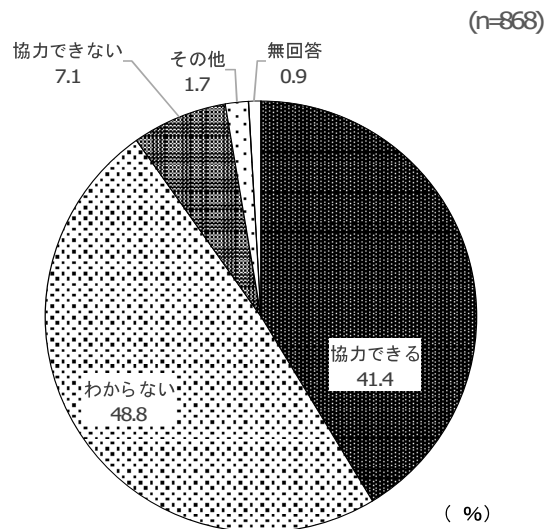
### (5) 災害時の避難先

「川崎市の避難所(川崎市立学校)」(76.8%)が7割を超え最も多かった。次いで「家族・親戚、友人の家」(29.3%)、「宿泊施設」(9.2%)、「職場」(5.6%)となっている。



### (6) 避難所の運営に協力できるか

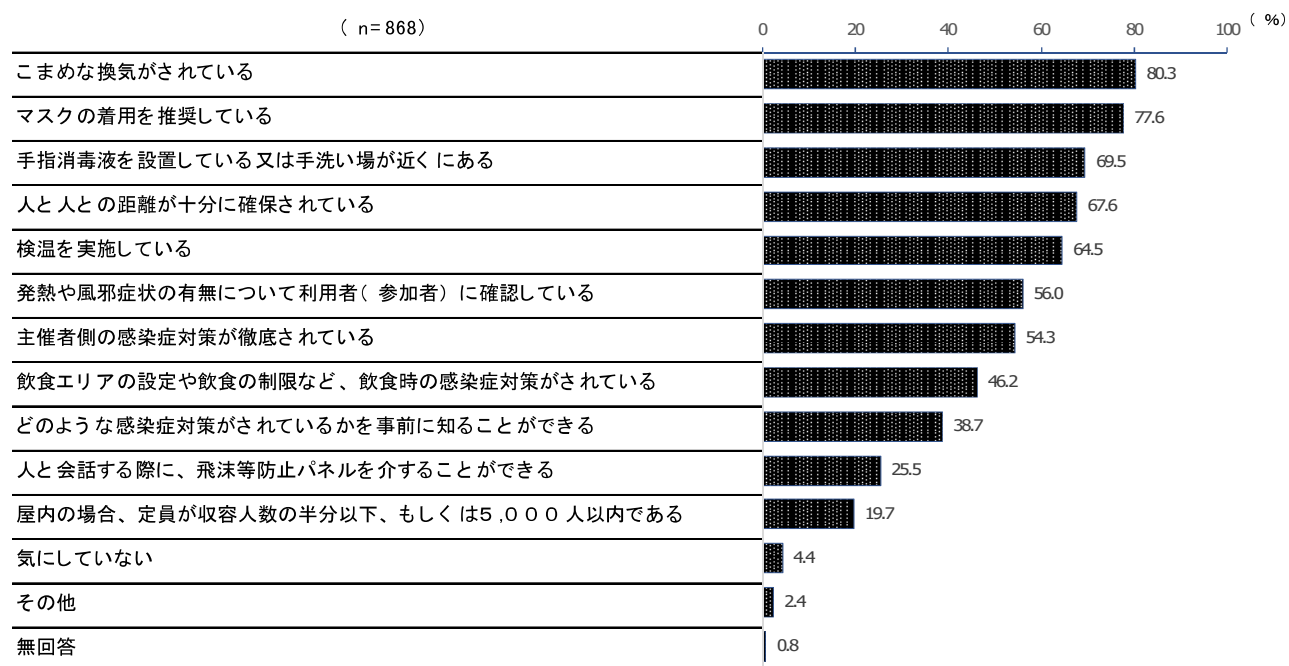
「わからない」(48.8%)が5割弱となっている。「協力できる」は41.4%、「協力できない」は7.1%となっている。



## 11. 新型コロナウイルス感染症対策

### (1) 人が集まる場所に求める対策

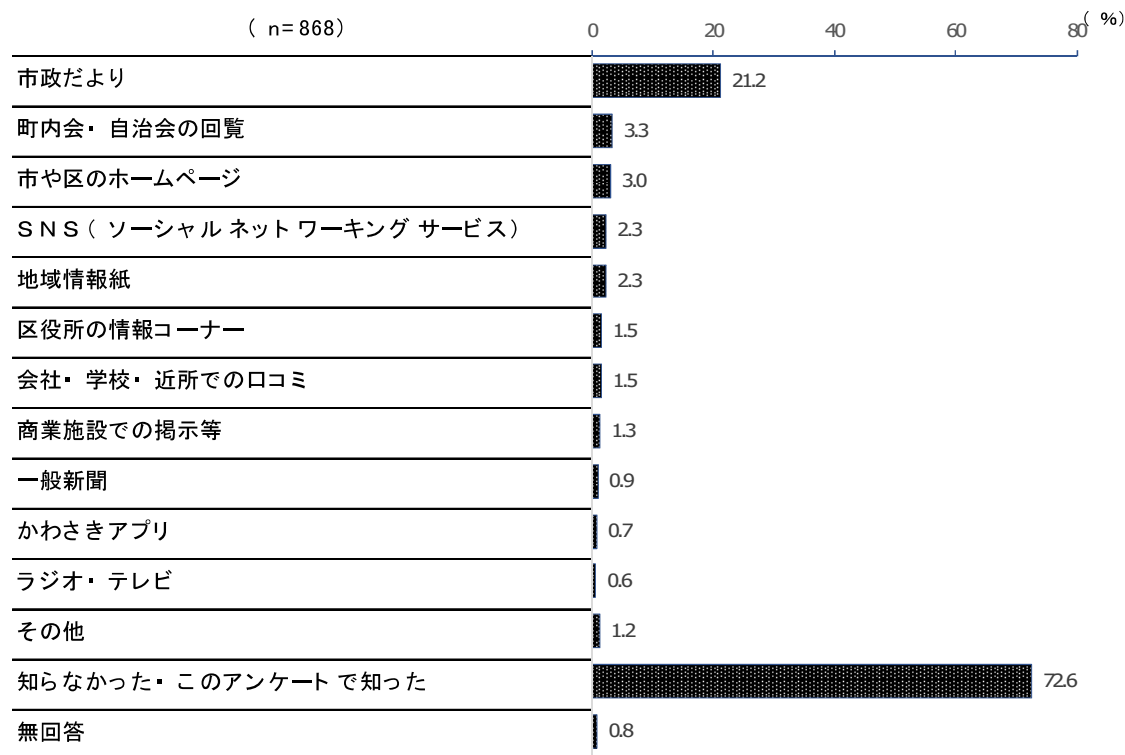
「こまめな換気がされている」(80.3%)が8割強で最も多かった。次いで「マスクの着用を推奨している」(77.6%)、「手指消毒液を設置している又は手洗い場が近くにある」(69.5%)、「人と人との距離が十分に確保されている」(67.6%)、「検温を実施している」(64.5%)となっている。



## 12. 区制50周年

### (1) 区制50周年を知ったきっかけ

「市政だより」(21.2%)が2割強で最も多かった。次いで「町内会・自治会の回覧」(3.3%)、「市や区のホームページ」(3.0%)となっている。一方、「知らなかった・このアンケートで知った」(72.6%)は7割強となっている。



## 13. 自由意見

「公園・緑地・河川・道路の整備等について」(88件)が最も多く、次いで「行政全般(災害対策、計画、制度等)について」(54件)、「交通ルールやマナーについて」(36件)と続いている。

上位項目	件数
公園・緑地・河川・道路の整備等について	88
行政全般(災害対策、計画、制度等)について	54
交通ルールやマナーについて	36
バス・鉄道などの交通機関について	27
生活環境(住みやすさ等)について	23

## 中原区区民アンケート 概要版

令和4(2022)年12月

川崎市中原区役所まちづくり推進部企画課

電話(044)744-3149

〒211-8570 川崎市中原区小杉町3-245

FAX(044)744-3340